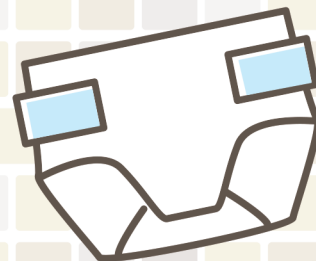
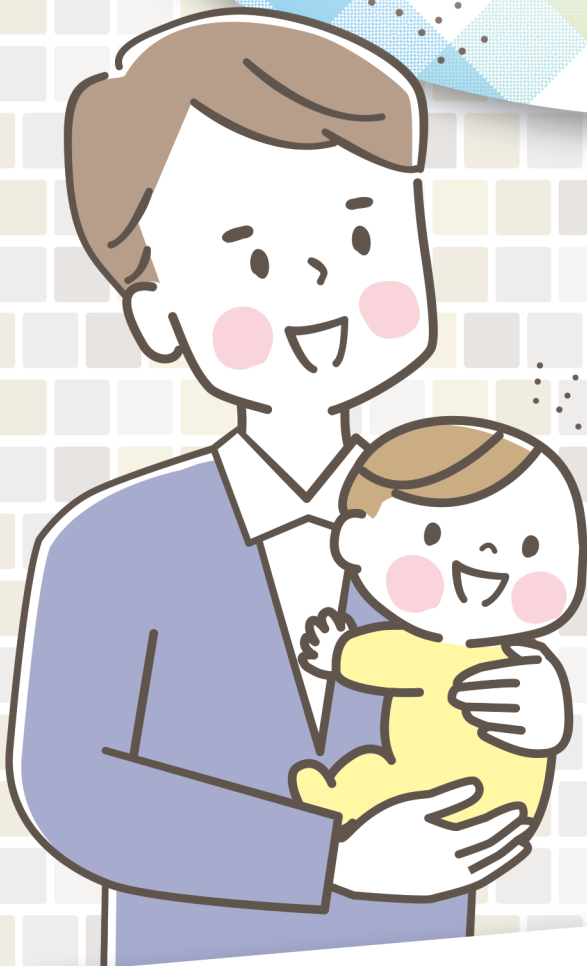




男性育休で
ライフもワークもハッピーに!

男性の 育休取得ガイド



INDEX

1. 男性の育休取得のメリットは？
2. 育児休業制度とは？
3. 育休を取得した人の声・子育ての時間割
4. ハッピー育休につなげるための3つの準備

はじめに

男性が育休を取得することは、家庭にも会社にも、パパ自身にもメリットがたくさんあります。令和4年10月に「育児・介護休業法」が改正され、これまで以上に男性が育児休業を取得しやすくなりました。ぜひ、このリーフレットを夫婦で一緒に読んで、仕事と育児・家庭生活を両立していくヒントにしてください。

いいことあるの？

1 男性の育休取得のメリットは？

1 パパもハッピー

育児・家事の経験が増える

- どんな状況でも適応できる、対応力がUP！
- 調整力・タイムマネジメント力など向上し、仕事力がUP！
- 子どもとの信頼関係を上手に構築できる！
- コミュニティや人脈が広がり、視野が広がる！



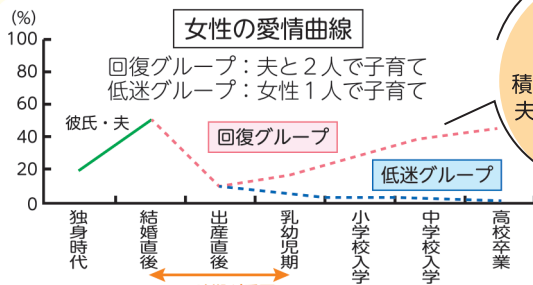
2 家庭もハッピー

コミュニケーションが活発に

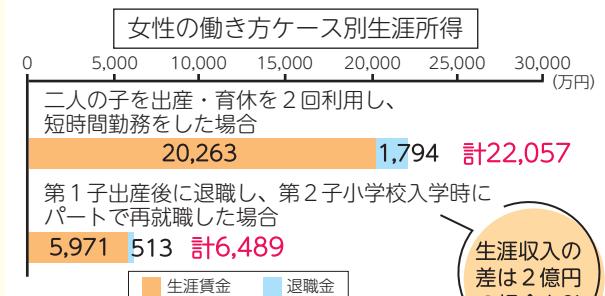
- より良い夫婦関係が構築される！
- ママのワンオペ育児の解消
- ママの育児不安やストレスの解消

ママのキャリアアップ

- 家庭の経済的余裕がUP！



産後のパパの家事や育児の積極的なサポートで、夫婦の絆が強まる！



出典：ダイバーシティ&ワークライフバランスコンサルタント 渥美由喜氏著「夫婦の愛情曲線の変遷」

出典：厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」、及び「平成30年就労条件総合調査」をもとにニッセイ基礎研究所作成

3 会社も社会もハッピー

仕事の見直し

- 従業員の業務の効率化、生産性がUP！
- 社内コミュニケーションの向上！

子育てと両立しやすく、働きやすい職場に

- 出生率の向上！

2 育児休業制度とは？

産後パパ育休(出生児育児休業)が創設され、育児休業を取得しやすくなりました。

出生時退院時等+さらにもう1回

夫婦が育休を交代できる回数が増える

	産後パパ育休 (出生時育児休業制度)	育児休業制度
対象期間 取得可能日数	子の出生後8週間以内に4週間まで	原則子が1歳(最長2歳)まで
申出期限	原則休業の2週間前まで	原則1か月前まで
分割取得	分割して2回取得可能 (初めにまとめて申し出ることが必要)	分割して2回取得可能 (取得の際にそれぞれ申出)
休業中の就業	労使協定を締結している場合に限り、労働者が合意した範囲で休業中に就業することが可能	原則就業不可

夫婦ともに育児休業を取得した場合は、1歳2カ月までの間、1年間取得できます(パパ・ママ育休プラス)

4 ハッピー育休につなげるための3つの準備

準備：その1 夫婦間でしっかり話し合おう

育休を取る目的

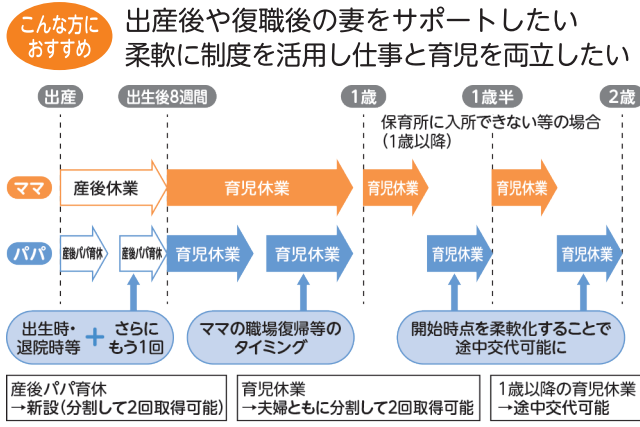
夫婦で育休取得してやりたい事・育休中それぞれが大切にしたい事・どのような子育てをしていきたいか・子育てにどのくらい費用がかかるか・育休中の家計(収入・支援制度)について など

時期・期間

育休取得の時期、タイミング、夫婦のスタイルは？ 自分たちにあったパターンを考えよう

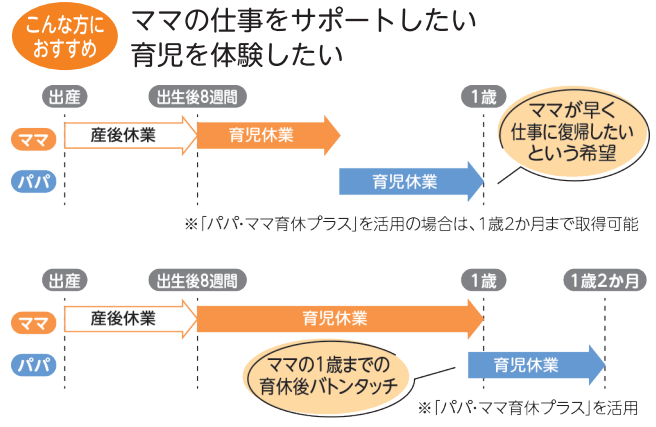
パターン①

新制度「産後パパ育休」を活用した分割取得型



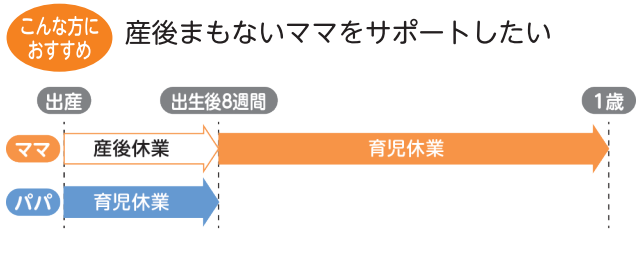
パターン②

ママ育休とバトンタッチ型



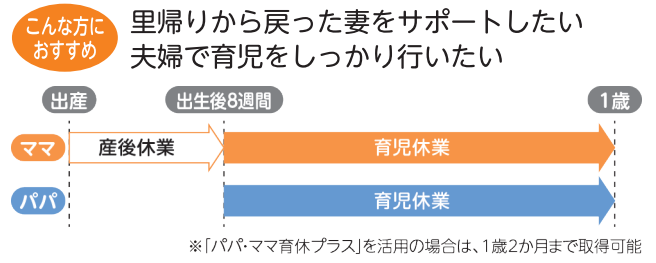
パターン③

産後すぐサポート型



パターン④

一緒に育児型



準備：その2 早めに職場に相談しよう

- 勤め先の子育て支援制度、申請の方法
- 時期や期間の相談
- 仕事の状況、見通し など

宇都宮市では、パパとママの子育てをサポートする「宮っ子育てアプリ」を配信しています。是非、ご利用ください。



※読み取れない場合は、「母子モ」で検索してください
◀ダウンロードはこちら

準備：その3 業務の整理 (仕事・家事)

仕事

- 不要な業務の削減、業務の見える化・共有化、マニュアル作成など引き継げる準備
- 余裕をもったスケジュールを立てて引継ぎ
- 社内外関係部署への連絡

家事

- 家事の分担役割
- 家事や育児のシュミレーション

